

あいちの印刷

6

2013.6
No.499



夏を待つ木曾裏谷

も く じ

巻頭言「平成25年度スタートにあたっての所感」 ／理事長 木野瀬吉孝	3
愛印工・平成25年度通常総代会	4
愛印工・平成25年度「事業計画」	6
愛知県印刷協同組合理事会／通常総会	7
平成25年度5月期理事会（第2回）	8
メディア・ユニバーサルデザイン「MUDセミナー」と 「MUD教育検定3級」受験者募集の案内	9
日印産連「印刷業界における デジタル印刷に関するアンケート調査」	10
お知らせ 愛知労働局 平成25年度全国安全週間 7月1日～7日／省エネルギー・省資源対策推 進会議省庁連絡会議	12
身近な催し物のお知らせ	13
日印産連 「9月印刷の月」PRポスターデザイン募集	14
ピックアップ／事務局だより	14

巻頭言

「平成25年度スタートにあたっての所感」

理事長 木野瀬 吉孝

今年に入ってからの日本経済は、当初砂上の楼閣のように言われていたアベノミクス効果が長期に及んでいることもあって、堅調に推移しています。ただし、私たち中小企業とりわけ印刷業界にまでその効果が波及するのが何時になるのかは、全く不透明な状態です。

先日、ある上場会社の役員と話していた時、こんな質問を受けました。「経費削減を購買に指示して、一番下がったのは印刷物でした。印刷業は、今まで相当利益率の高い職種だったんですね」と。

私たちは、いつまでバーゲンセールをやり続けるのでしょうか。政府がどれだけ景気浮揚策をとっても、多分こんな姿勢を続けていたら、その恩恵を受けることは未来永劫できないと思います。

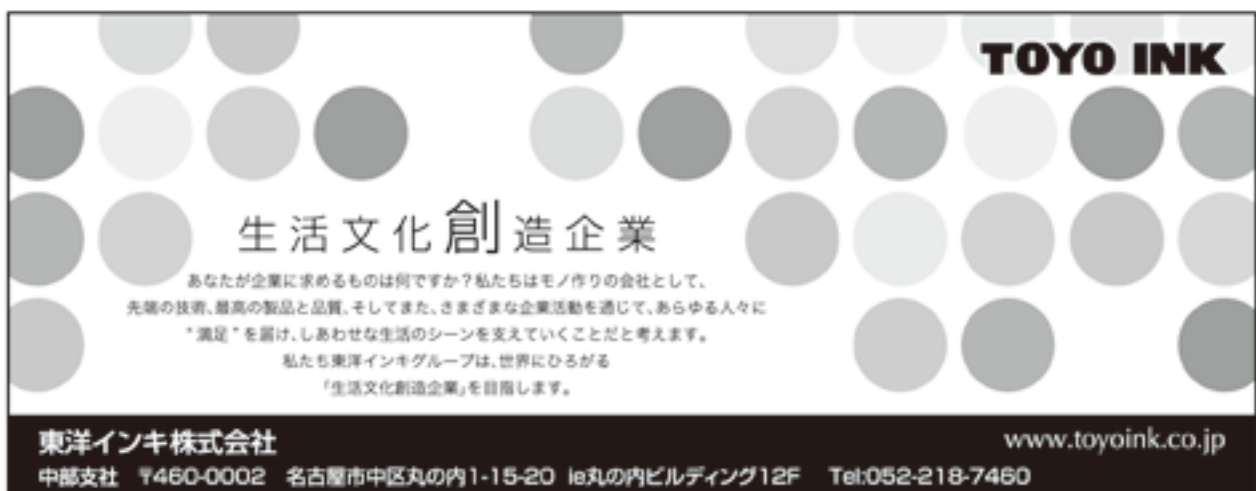
そんな背景を踏まえ、今年度の愛印工の事業計画には、本来印刷業界が持っている底力が発揮でき、ソリューションプロバイダーとしてお客様の販促や利便性に貢献できる様々な発想を盛り込んでまいります。そのためには、健全な財務管理と利益体質の構築を各社が行っていくことも同時に求められます。前年度同様、すべてのセミナーが定員オーバーになるような意義

あるものをご提供してまいりますので、積極的に参加していただきますようお願いします。

また、今年度から全印工連でスタートするCSRの認定制度にもご注目ください。CSR（企業の社会的貢献）を進めることと、企業の発展は一体のものと思います。昨年の全国印刷文化典で「戦略的CSR」の提言がなされました。取り組んだほうがいいですよというCSRではなく、能動的に地域社会に貢献するCSR、社員が幸せを享受できるCSR事業を目指して認定制度に取り組んでいただければ幸いです。

その他、昨年より取り組んでいます従業員のメンタルヘルス対策事業では、共済部門の保険とも連動させて相談等を気楽にできるシステムを提供してまいります。4回目を迎えるポスターグランプリは、昨年までと違って学生だけではなく一般にも募集を広げます。組合員各社の社員さんはもとより身近なデザイナーの皆さんにもお声掛けいただき、イベントを盛り上げていただくようお願いします。

今年度も、副理事長・委員長・支部長の皆さんのリーダーシップのもと、組合員の皆様にとって有益な事業を企画してまいりますので、ご支援ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。



TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社 www.toyoink.co.jp
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 le丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

■愛印工・平成25年度通常総代会



愛印工通常総代会



挨拶する木野瀬理事長

業界発展と 問題解決のために鋭意努力（木野瀬理事長） 有益な事業を数多く企画、積極的な参加を促す

愛知県印刷工業組合（木野瀬吉孝理事長）の、平成25年度通常総代会が5月17日午後4時より、中区錦の名古屋観光ホテル「曙の間」において開催されました。またこの日は、総代会に先立ち5月期理事会、愛知県印刷協同組合（高井昭弘理事長）理事会と総会、さらに、愛印工組、愛印協組の合同懇親会も併せて行われました。

■平成25年度の事業計画承認

総代会は、岡田邦義副理事長が司会を務め、開会の辞を鳥原久資副理事長が行いました。次いで、木野瀬理事長が挨拶に立ち、「1年前、理事長に就任して以来、早いものでもう1年が過ぎました。1年間のご協力に感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べ、次のように挨拶しました。

「就任後、大阪の校正会社で胆管がんの発症が確認され、前代未聞の出来事に衝撃を受けスタートしました。これは、業界における従業員の健康や安全確保の重要性を再確認させられました。また、県から委託を受けて行ったメンタルヘルスケア対策は、

職場の環境整備とともに、社員の健康管理にも大きく踏み込んだ1年でした。さらに、様々な事業を展開する中で、セミナーにおいては、全て定員をオーバーしお断りする事態も発生しました。その要因は、各委員会が業界の問題点を掘り下げた上でセミナー内容を徹底的に精査し、時宜に合ったテーマに取り組んだ結果であると思います。

昨年2月に竣工したメディアージュ愛知は、現在、テナントの入居が全て完了し、収支面での計画を達成しました。利用に至っては、関連団体や組合員各社にも利用され、文字通りメディア発信基地としての役割を果たしています。

全印工連の島村会長が就任にあたって“やる気のある全ての組合員のお役に立つ事業を展開する”と宣言された。それを受けて、私も愛印工の理事長就任にあたりその宣言を踏襲していこうと、ただいま奮闘しております。これからも、やる気のあるところにいろいろ情報を提供してまいります。

まだまだ幾多の課題が山積していますが、執行部一同おられることなく業界発展と問題解決のために今後も邁進していく覚悟でいます。今後ともご理解とご支援をお願い申し上げます」。

続いて、議長選出が行われ、司会者一任で安田智雄氏（安田印刷工業㈱）を選出。総代会成立の確認が行われ、総代定数40名の内、出席者総数23名、委任状15名合計38名、定足数21名を超えており、総代会の成立が認められ、議案審議に入りました。

▼第1号議案「平成24年度事業報告及び決算関係書類承認の件」事業報告、収支決算関係について河原善高事務局長が報告。監査報告を富永康文監事が行い承認されました。

▼第2号議案「平成25年度事業計画及び収支予算承認の件」事業計画基本方針を木野瀬理事長、三役直轄事業を細井俊男副理事長、組織・共済委員会事業を岩瀬清委員長、経営革新委員会事業を木村吉伸委員長、マーケティング委員会事業を鬼頭則夫委員長、教育委員会事業を岡田副理事長、労務・新人教育委員会事業を酒井良輔委員長が行いました。事業計画に係わる収支予算については河原事務局長が行い承認されました。

（※今年度の予算は69,913,000円が組まれました）

▼第3号議案「平成25年度経費の賦課及び徴収方法の決定の件」平成25年度経費の賦課及び徴収方法について、河原事務局長より説明があり原案通り承認されました。

▼第4号議案「平成25年度常勤役員報酬額承認の件」前年度と同額にする旨、河原事務局長より説明があり原案通り承認されました。

▼第5号議案「平成25年度役員一部補充の件」加藤修前専務理事の退任に伴い、河原善高を選任する旨の説明が河原事務局長より行われ原案通り承認されました。

（※平成25年度の事業計画は別項に詳報）

■情報交換と親睦で華が咲いた懇親会

議案承認後、総代会後半に移り、冒頭、来賓出席者が紹介されました。次いで、来賓祝辞に移り、中部経済産業局産業部彦坂謙二流通・サービス産業課長、愛知県産業労働部説田一成産業労働部次長が代表し祝辞を述べました。

祝辞の中で彦坂課長は、最近の経済状況に触れた後、「中小企業の実態は引き続き厳しい状況が続いています。この先、不透明感が払拭されるにはまだまだ時間がかかるものと思われれます。そうした中、経済産業省としては中小企業施策に非常に力を入れています。日本経済の再生の主役は中小企業であるとの認識の下、いろいろと施策を用意し、中小企業



彦坂謙二課長

説田一成次長

の皆様への活性化に向けた支援をさせていただいています。印刷業界の皆様方にも是非活用していただき、より発展を図っていただきたい」と述べました。

また、説田次長は愛知県の中小企業対策に触れ、「愛知県においても、中小企業の資金繰りをきめ細かく支援するために、融資制度において金利の値下げをするなど制度の充実を図っています。また、それぞれの事業においても利用しやすいようにし、皆様方の支援に力を入れております」と、制度の活用を促しました。

続いて、木野瀬理事長から謝辞が行われ、来賓の出席に感謝の意を表したうえで、「私どもはいろいろな意味で、経済産業省、愛知県、さらには本日出席をいただいている各業界の方々にお世話になりながら組合事業を遂行しています。例えば、4月からスタートしました新人研修も他県では見られない200時間にも及ぶ独自のカリキュラムと国からの助成をいただいております。また、メンタルヘルスケアも県の助成をいただいております。さらに、官公需問題に関しましても、印刷物の入札落札社に対し、ヒヤリングをするよう県に申し立てを行いました。こうしたことは組合だからできることです」と、事業の一部を紹介しながら、「今後とも、組合事業に対しご支援をお願い致します」と結びました。その後、鳥原副理事長の閉会の辞で総代会を終了しました。

小休止の後、愛印工組、愛印協組合同の懇親会に移りました。司会を鈴木正副理事長が行い、木野瀬理事長の挨拶の後、この3月末で退任した加藤修前専務理事が退任挨拶に立ち、「一期一会」の言葉を引用し3年間を振り返りました。乾杯の発声を塚本久愛知県議会議員が行い懇親会に入りました。歓談と情報交換に華が咲く中、細井副理事長の中締めで懇親会は終了しました。

愛印工

平成25年度「事業計画」

▼三役直轄事業（細井俊男副理事長）

三役直轄事業として、下記の各事業をより一層の充実を図ります。なお、昨年度、三役直轄事業としていたCSRに関しては、本年度「全印工連CSR認定制度」の開始を機に、経営革新委員会事業として推進してまいります。

①第4回ポスターグランプリを岐阜、三重両印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合との共催で開催。また、昨年までと違い、募集対象を学生・生徒だけではなく一般にまで広げ、社会的意義をより深めてまいります。ポスターグランプリ今年度のテーマは「技」、②名古屋而立会への支援・協力、③関連他団体との情報交流、④その他の案件への対応。

▼組織・共済委員会事業（岩瀬清組織・共済委員長）

組織事業では、組織の維持拡大もさることながら、それぞれの組合員企業が自社の強みを発揮し、適正な収益確保ができるような企業経営に必要な情報・資料を提供いたします。また、官公需では破壊的な低価格競争によるダンピングが繰り返され、適正な利潤を生み出すことが不可能な低価格での落札が増えている現状を改善し、さらに、最低制限価格制度の働きかけを愛知県に行ってまいります。特に、共済事業では、メンタルサポートサービス、健康コール24を備えた新医療保障プランの保険加入を推進していきます。また、社員の個人年金に会社が補助をする形の新しい生涯設計プランの開発を考え、社員と会社が無理のない形で積み立てをし、ともに将来を語れる環境づくりを検討します。

【組織事業】①全印工連、その他関係機関や諸団体からの関係情報の収集と提供、②支部事業の積極的支援、

③将来の組合のあり方の検討、④「あいちの印刷」の継続発行、⑤組合ホームページによる情報提供、⑥組合員へのより積極的な広報活動の推進。

【官公需対策事業】①官公需対策の実例の情報収集、②官公需要望書の作成、③印刷物のダンピング発注価格見直しの要望。

【共済事業】①各種共済制度への加入促進活動。

▼経営革新委員会事業（木村吉伸経営革新委員長）

先進企業見学会、企業経営の参考となるセミナーの開催や各種事例などの情報発信を通じ、組合員各社が今後の事業展開を考える機会を提供してまいります。また、今年度から新たに全印工連が推進するCSR認定制度が始まります。組合員の皆様方が長期にわたり発展されるためにもCSRについて理解していただく機会を設けるとともに、印刷だけにとらわれず、情報発信業として必要な、異業種の経営に関する情報発信にも取り組んでまいります。

①CSRに関するセミナー開催、②先進企業見学会の実施、③経営セミナーの開催、④企業経営に関する各種情報の発信。

▼マーケティング委員会事業（鬼頭則夫マーケティング委員長）

「経験という牢屋」。東京造形大学の諏訪学長が今年度の入学式で学生に贈った言葉です。今までの経験値から発するノウハウ・提案では、お客様は何も興味がないものになってはいないでしょうか。今期のマーケティング委員会では、「経験という牢屋」からの脱獄を目指し活動を行なってまいります。

①マーケティングセミナーの開催（2回）、②全印工連の業界計画への対応（周知、説明会など）、③需要開拓情報誌「PRINT ZOOM」の購読、④マーケティングに関する情報発信、⑤MUDへの取り組みについての啓蒙とMUD教育検定3級の実施、⑥グリーンプリンティング（GP）認定工場制度の周知、⑦印刷産業における環境に関する各種情報の発信。

▼教育委員会事業（岡田副理事長）

教育委員会の活動の主目的は、印刷従事者のスキル

愛知県印刷技能検定使用機種

OLIVER 466SD

菊半裁4色印刷機

LED-UV搭載可能

最高印刷速度16,100回転

高品位印刷を実現する倍径圧胴、
逆くの字調配列を採用した
正菊半サイズの省スペース機

大好評! オリバー-SD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種



愛知印刷技能検定試験センターにて、本機種の検定を実施します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
TEL: 0575-33-1131 (FD) FAX: 0575-33-1138

本社
〒135-0032 東京都江東区船場2-2-9
TEL: 03-3643-1131 (FD) FAX: 03-3643-1138

中部営業所
〒501-3713 岐阜県高津市3951
TEL: 0575-35-2551 (FD) FAX: 0575-35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪市淀川区東1丁目3-31
TEL: 06-6308-6651 (FD) FAX: 06-6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL: 092-741-2672 (FD) FAX: 092-741-2670

岐阜工場
〒501-3713 岐阜県高津市3951
TEL: 0575-33-1260 (FD) FAX: 0575-33-3146

ISO 9001 認証取得
Sakurai

■愛知県印刷協同組合理事会／通常総会

「メディアージュ愛知」印刷業界の 情報発信基地としてさらなる活用を!

ポスターグランプリ共催

愛知県印刷協同組合（高井昭弘理事長）の理事会／通常総会が、5月17日15時より名古屋観光ホテルにおいて行われました。

理事会では、第1号議案＝平成25年度総会提出資料の件、第2号議案＝平成25年度役員一部補充の件が審議され、いずれも承認されました。

なお、第2号議案における理事の退任による欠員補充では、西川誠也氏（西川コミュニケーションズ(株)）に替わり新たに鈴木進氏（同）が選任されました。

引き続き、平成25年度通常総会に入りました。

総会の冒頭、高井理事長が挨拶に立ち、「1年無事に過ぎたことに感謝」とともに、「メディアージュ愛知は昨年の2月に竣工しました。振り返ってみますと、収支も思惑通りいっており順調です。10年もたてば目途がつくのではないかと思います。大変苦労がありましたが、愛知県印刷業界の顔として、また、情報発信の拠点として、大いに活用していただきたい」との期待を表明しました。

議案審議に入り、第1号議案「平成24年度事業報告及び決算承認の件」、第2号議案「平成25年度事業計画及び収支予算承認の件」、第3号議案「その他の件（役員補充）」が審議され、それぞれ承認されました。

なお、組合員数及び出資口数は、平成24年度新規加入組合員数4社、出資金納入口数4口、脱退組合員数11社、出資金返還口数14社となり、平成24年期末組



挨拶する高井理事長

合員数は239社、出資口数は984口となっています。

愛知県印刷協同組合における平成25年度事業計画は以下のごとく。

【基本方針】

MEDIAGE Aichi（メディアージュ愛知）は、平成24年2月に愛知県印刷業界の顔として、事業推進の場として建設され、情報発信の拠点として機能しております。愛知県印刷協同組合は組合財産の維持管理、愛知県内の印刷業者の団体である愛知県印刷工業組合の活動を側面から支援するとともに、愛知県印刷産業団体連絡会の一員として、印刷産業の発展と向上に尽力してまいります。

【事業計画】

- ①メディアージュ愛知の維持管理をします。
- ②メディアージュ愛知を印刷業界の情報発信基地にします。
- ③愛知県印刷工業組合の事業に協力し、第4回ポスターグランプリを協催します。
- ④愛知県印刷産業団体連絡会の一員として、同連絡会の事業に協力します。

アップを目指し、人材育成の教育支援をすることにあります。各種事業を通じ、全組合員、従業員の皆様の資質向上及び人材育成と自己啓発を目的とした事業を実施します。

①印刷技能検定オフセット印刷作業実技試験及び採点の実施、同学科学習会の開催、②「ゼロから始める見える化セミナー」の実施、③アドバイセンプログラム説明会の開催と販売促進、④アドビテクニカルセミナーの開催、⑤教育セミナーの開催、⑥印刷技術、従業員教育に関する情報の発信。

▼労務・新人教育委員会事業（酒井良輔労務・新人教育委員長）

昨年度、愛知県からの受託事業として実施しましたメンタルヘルスに関する事業を今年度も企画し、継続して組合員事業所の労働衛生の一助としてまいります。また、

新人社員研修会の企画・実施にあたっては新入社員以外の社員にも適用される助成金制度にも対応するカリキュラムを作成いたしましたので、組合ホームページから内容をご確認いただき、多数の参加をお持ちしております。以上のほかに、組合員事業所における福利厚生及び労働安全に関する情報発信に積極的に取り組んでまいります。

【労務事業】①従業員・家族合同レクリエーション大会の実施、②永年勤続優良従業員表彰の実施、③鉛・有機溶剤取扱者健康診断の実施、④メンタルヘルス対策事業の実施、⑤各事業所における「断裁機使用にあたっての特別教育」実施に関する支援、⑥各種助成制度、労働関係法規、従業員の福利厚生に関する情報発信。

【新人教育セミナー】①ジョブ・カード制度など助成金の活用を見据えた社員研修会の企画・開催。

※（ ）内は総代会での報告者



5月期理事会の様様

平成25年度5月期理事会(第2回)

今後の事業日程報告

CSRセミナー「6月21日」

MUD教育検定3級「7月13日」開催

平成25年度5月期理事会(第2回)は、午後3時から通常総代会に先立ち開催されました。

理事会は、河原善高事務局長の司会で、冒頭、木野瀬理事長の「本日は、工業組合理事会、協同組合理事会・総会、工業組合総代会、そして、懇親会と長時間にわたりますが、よろしくお付き合い下さい」との挨拶の後、議案審議に入りました。

議事は、(1)組合員の加入・脱退、(2)平成25年度通常総代会提出書類説明、(3)今後の事業予定が上程され、いずれも承認されました。(なお、誌面の都合で、具体的審議内容は割愛しました)

【今後の事業予定】

▼平成25年度通常総代会

日時＝平成25年5月17日(金)

場所＝名古屋観光ホテル

▼中部地区印刷協議会(平成25年度上期会議)

日時＝平成25年6月14日(金)～15日(土)

場所＝富山市(オークスカナルパークホテル)

▼経営セミナー(経営革新員会)

日時＝平成25年6月21日(金)18時30分～20時30分

演題＝「戦略的CSRのご提案」

講師＝江森克治氏(全印工連CSR推進専門委員、
(株)協進印刷社長)

場所＝メディアージュ愛知

参加費＝3,000円

定員＝40名

▼技能検定オフセット印刷作業

〈実技試験〉※申込締切済み

日時＝平成25年7月6日(土)、7日(日)、20日(土)、21日(日)、8月3日(土)

場所＝(株)桜井グラフィックシステムズ岐阜工場

受検者＝1級21名/13社、2級15名/11社、合計36名/18社

〈学科試験〉※申込締切済み

日時＝平成25年9月1日(日)

場所＝未定(受験票で通知)

受検者＝1級20名/13社、2級11名/7社、合計31名/16社

▼アドビテクニカルセミナー(教育委員会)

日時＝平成25年7月12日(金)13時～17時

場所＝ウインクあいち

講師＝アドビシステムズ(株)

※詳細調整中

▼MUD教育検定3級(マーケティング委員会)

日時＝平成25年7月13日(土)10時～16時30分

場所＝ウインクあいち

受験料＝組合員13,500円(一般15,000円、学生5,000円)

▼技能検定学科試験対策学習会(教育委員会)

日時/平成25年8月31日(土)13時～17時

場所/メディアージュ愛知

※詳細調整中

▼ゼロから始める“見える化”セミナー(教育委員会)

日時/平成25年9月27日(金)18時15分～20時30分

場所/ウインクあいち

※詳細調整中

▼第4回ポスターグランプリ(三役直轄事業)

※今回から「一般の部」を新設。

応募作品受付期間＝平成25年8月20日(火)～9月7日(土)平日9時～17時、最終日は12時まで(9月7日以外の土・日曜日は受け付けない)。

入賞・入選作品展＝平成25年11月6日(水)～10日(日)10時～18時。※金曜日は20時まで、最終日は16時まで。

入賞者表彰式＝平成25年11月10日(日)10時30分～12時。

場所/愛知芸術文化センター

(なお、4月期理事会が4月25日メディアージュ愛知において開催されておりますが、5月期理事会と内容が重複しますので、ここでは、開催されたことのみ報告いたします)

□メディア・ユニバーサルデザイン

「MUDセミナー」と「MUD教育検定3級」受験者募集の案内

理事会の席上、鳥原副理事長から「MUDセミナー」、
「MUD教育検定3級」の案内が行われた。MUDセミナーは、経営幹部・営業部門の人を対象に、「これからMUDに取り組もうと考えている」、或いは、「企業としてMUDに取り組むメリットが知りたい」などの疑問に答えるセミナーとなっている。一方、MUD教育検定は、高齢者や色覚障がいの方々にもわかりやすい印刷物、Web、サインなどを、制作・発注できる知識・技術を習得することを目的としている。

鳥原副理事長は、「バリアフリーの考えは情報発信にも不可欠となってきている。MUDセミナーは、これまでの技術的なセミナーから、MUDを活用することでお客さんに喜んでいただいた成功事例の内容を紹介する。MUD協会から浦久保氏を講師としてお願いしている。営業に役立つセミナーであるので、是非、聴講していただきたい」と、参加を要請している。また、7月に行われる「MUD教育検定3級」の検定試験についても、「印刷関連業者に限らず、他の業界からの受講も増えており、今後、必ず必要になる資格となるので、こちらにもチャレンジしていただきたい」と勧めている。

□「経営幹部・営業部門のためのMUDセミナー」～CSR活動と顧客満足の実現の一助として～

- ▼日時／6月20日(休)14:30～16:00
- ▼場所／メディアージュ愛知3階会議室
- ▼講師／MUD協会 浦久保康裕氏
- ▼定員／50名
- ▼申込先／愛知県印刷工業組合

□「MUD教育検定3級」受験者募集

MUDは、暮らしの中にあるさまざまな情報が、高齢

者、障がい者、色弱者など、見る側の立場によっては、その内容が正しく伝わらないという事実が往々にしてある。これをなくすために、「色の使い方」「デザイン」「文字の使い方」などを工夫し、一人でも多くの人に使いやすく、見やすい、情報を心地よく伝えようとする取り組みがMUDになる。

MUD教育検定とは、ユニバーサルデザインやメディア・ユニバーサルデザインの基礎を正しく理解し、情報を発信する側が「どんな人でも読める、わかる」情報を発信していくことが社会的役割であることを認識し、さらなる利便性の向上に取り組んでいく人材の輪を広げることを目的としている。

主催＝愛知県印刷工業組合、共催＝中部グラフィックコミュニケーションズ工業組合・OAC夢クラブ認定機関／内閣府認証特定非営利法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会。詳細は以下のごとく。

▼検定日＝7月13日(土)9時30分開場

▼会場＝愛知県産業労働センターウインクあいち

▼申し込み締切日＝6月28日(金)

▼受験料＝一般15,000円、学生5,000円、愛印工業組合員13,500円(受験料には、教材として①テキスト2冊(色覚・文字組版)、②MUD協会制作の白内障、色覚障がいシュミレーションソフトが含まれる)

▼受験資格＝年齢・性別などによる制限はない。

▼講習時間＝10時～15時20分(予定)、

▼試験時間＝15時30分～16時30分(予定)

▼申込先＝愛知県印刷工業組合

TEL052(962)5771、FAX052(951)0569まで。また、MUDやMUD教育検定の情報に関しては、<http://www.media-ud.org> まで。

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・省材・LEDの
株式会社 **AXUAS**

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
販売課本部 TEL052(220)5511 伊吹課050(3533)5511 FAX052(220)5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



■日印産連 「印刷業界におけるデジタル印刷に関するアンケート調査」

理想のビジネスモデル

「ワンストップサービス」

全体の7割がカラー機保有／導入計画(カラー機)1年以内が半数

一般社団法人日本印刷産業連合会(足立直樹会長)では、「印刷業界におけるデジタル印刷に関するアンケート調査」を行ない、この程、その結果を公表した。調査結果によると、デジタル印刷企業で重視するビジネスモデルに関する質問に対し、「ワンストップ」との回答が最も多かったほか、デジタル印刷機の導入時期について、「カラー機を1年以内に」と答えた企業が半数近くを占めるなど、デジタル印刷機を導入しこれまで対応できなかった印刷物を手掛けることにより、事業拡大を目指している点が明らかとなった。

アンケート回答企業は、印刷工業会、全日本印刷工業組合連合会、日本フォーム印刷工業連合会、日本グラフィックサービス工業会、日本グラフィックコミュニケーションズ工業連合会、全日本シール印刷協同組合連合会、全日本グラビア協同組合連合会、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会の各団体から抽出した643社を対象に、189社から回答を得た。

〈アンケート結果〉

—デジタル印刷機(生産機)の保有台数—

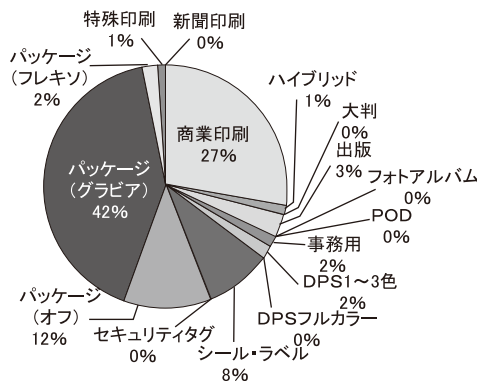
デジタル印刷機のサイズ別保有状況は、50%以上がA3クラスでありB2以上は4%少数であった。デジタル印刷機の方式は、トナー式が6割以上で

インクジェット式は約4割である。また、カラー／モノクロの区分でみるとカラーが7割以上となっている。

—デジタル印刷ビジネスの市場規模—

○回答89社における印刷市場規模は、オフセット印刷機など有版印刷機

印刷市場規模



とデジタル印刷機で製作されている印刷物の品目別の売上高(有版印刷、デジタル印刷、印刷付帯サービスの3要素)の回答が得られ、回答社の市場規模は約3,619億円である。2010年は約3,350億円であったが、調査対象が同一でないため、成長しているかどうかは不明である。

○商業印刷の市場規模(回答89社)は約938億円である。そのうち、デジタル印刷は約23億円(インクジェットデジタルが約7億円、トナーデジタルが約16億円)である。印刷付帯サービスは約88億円となった。構成比は、デジタル印刷2%、印刷付帯サービス9%、有版印刷88%となる。

○ハイブリッド印刷市場規模(回答89社)は約31億円である。デジタル印刷は約3億円(インクジェットデジタルが約1億円、トナーデジタルが約2億円)、印刷付帯サービスは約12億円となった。構成比はデジタル印刷11%、印刷付帯サービス39%、有版印刷は51%となる。

○出版印刷市場規模(回答89社)は約110億円である。デジタル印刷は約8.9億円(トナーデジタルのみ)、印刷付帯サービスは約1.4億円。構成比はデジタル印刷1%、印刷付帯サービス1%、有版印刷は98%となる。

○大判印刷市場規模(回答89社)は約10億円である。デジタル印刷は約9.9億円(インクジェットデジタル約9.9億円、トナーデジタル約0.4億円)、印刷付帯サービスは約0.2億円となった。構成比はデジタル印刷96%、印刷付帯サービス2%、有版印刷2%となる。

○ブックオンデマンド印刷市場規模(回答89社)は約0.35億円である。デジタル印刷は約0.22億円(トナーデ

カラーもモノクロもページもの印刷得意です

◎厚紙印刷菊全4色0.8mmまで可

◎PP貼のみの仕事引き受けます

データから印刷・製本・発送まで自社一貫体制

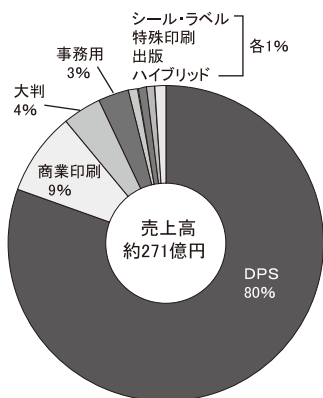
大日印刷株式会社
 0564-62-8461 (代)
 FAX 0564-62-8463

●印刷機械
 ●製版機械
 ●製本機械
 ●DTP関連機
 ●印刷諸材料
 ●データ制作
 ●オンデマンド印刷
 ●データ出力

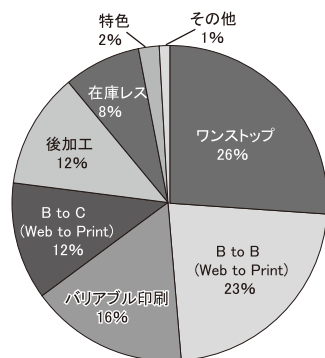
お役に立てる
 印刷関連
 総合商社

120余年の伝統に
 培われた信頼と
 先進の
 テクノロジー

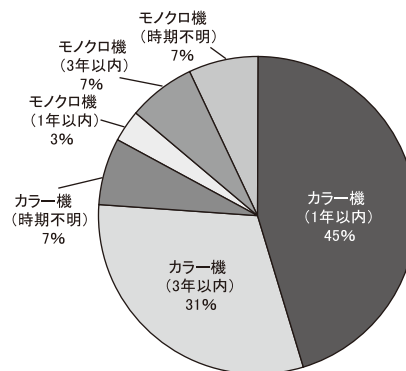
株式会社 **盛功社**
 〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
 TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>



デジタル印刷のビジネスモデル (複数回答)



デジタル印刷の導入促進のために必要なこと



デジタル印刷機の導入計画 (延べ台数と比率)

デジタルのみ)、印刷付帯サービスは約0.12億円である。構成比はデジタル印刷60%、印刷付帯サービス34%、有版印刷6%となる。

○フォトアルバム印刷市場規模 (回答89社) は約0.04億円である。デジタル印刷は約0.02億円 (トナーデジタルのみ)、印刷付帯サービスは約0.02億円である。構成比はデジタル印刷43%、印刷付帯サービス57%となる。

○事務用印刷市場規模 (回答89社) は約57億円である。デジタル印刷は約7億円 (インクジェットデジタル約0.1億円、トナーデジタル約6.6億円)、印刷付帯サービスは約1.2億円である。構成比はデジタル印刷12%、印刷付帯サービス2%、有版印刷86%となる。

○データプリント (1~3色) 市場規模 (回答89社) は約251億円である。デジタル印刷は約218億円 (インクジェットデジタルが200億円、トナーデジタルが約18億円)、印刷付帯サービスは約8億円である。構成比はデジタル印刷95%、印刷付帯サービスはほとんど無く、有版印刷は5%となる。

○データプリント (フルカラー) 市場規模 (回答89社) は16億円であ

る。デジタル印刷は約6億円 (インクジェットデジタルが5億円、トナーデジタルが約1億円)、印刷付帯サービスは約4億円である。構成比はデジタル印刷41%、印刷付帯サービスは26%、有版印刷は33%となる。

○シール・ラベル印刷市場規模 (回答89社) は約274億円である。デジタル印刷は約0.6億円 (インクジェットデジタルが約0.5億円、トナーデジタルが約0.1億円)、印刷付帯サービスは約1.7億円である。構成比は有版印刷が99%となる。

○特殊印刷市場規模 (回答89社) は約25億円である。デジタル印刷は約0.16億円 (インクジェットデジタルのみ)、印刷付帯サービスは約2億円である。構成比はデジタル印刷1%、印刷付帯サービス8%、有版印刷は91%となる。

—デジタル印刷の利用促進—

○デジタル印刷ビジネスで重視するビジネスモデル

今後のデジタル印刷ビジネスへの取り組みに際しての主たるビジネスモデルは次のようになる。291件の回答 (複数回答) があり、ワンストップソ

リューションが26%、Web2Print (B2B) が23%、バリアブルプリント16%と続いている。Web2Print はB2BとB2Cを併せると35%となる。また、ワンストップソリューションは後加工 (12%) や在庫レス (8%) を包括している可能性があることから、併せると40%になることで、やはり主要な要素であり、ビジネスモデルであると考えられる。

○デジタル印刷機の導入促進のために必要なこと

デジタル印刷の導入を促進するために必要なことで最も多いのが、極小ロット対応 (16%) である。提案営業の育成 (11%)、IT教育 (9%)、ITパートナー確保 (4%) との回答から、人材面での課題が大きいことが分かる。また、極小ロット対応のための課題 (出力データ作成自動化8%、多能工化8%、高効率化2%) も意識されている。

—デジタル印刷機の今後 (生産機) の導入計画—

○デジタル印刷機 (生産機) の導入計画について

デジタル印刷機の導入予定は、カラー機が83%であり、モノクロ機は17%である。前回調査では2:1程度であったため、急速なカラー機へのシフトが始まったと考えられる。

また、デジタル印刷機が有版印刷機の売り上げを越える時期については、74%が不明、未回答であったが、10年以内という回答も22%あった。分野によって相当な意識差があることが推察される。

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社

メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

□お知らせ

■愛知労働局

平成25年度全国安全週間7月1日～7日

「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」

愛知労働局では、平成25年度全国安全週間について6月を準備月間とし、7月1日から7日までの期間を本週間として、「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」をスローガンとして展開する。また、「第12次労働災害防止推進計画」を策定し、労働災害のさらなる減少を図るべく、啓蒙を行っている。

愛知県内の労働災害は、平成24年は休業4日以上
の被災者が6,392人（うち死亡者が49人）、平成25

年の死亡災害は5月12日現在で16人となっており、これから夏期に向かって死亡災害を含めた労働災害の発生が懸念される。このことから、愛印工組に対し、会員事業所の安全週間への取り組みの協力要請が行われた。

また、労働者の安全と健康を確保することは、最も重要な国民的課題の一つであり、誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現しなくてはならない。

今回、国の「第12次労働災害防止推進計画」に基づき、愛知労働局における労働災害防止対策を推進するため、重点的に取り組むべき事項を「労働災害防止推進計画」として策定し、周知徹底を図るとともに、労働災害の減少を目指している。（なお、「労働災害防止推進計画」は愛知労働局のホームページから閲覧ができる）

■省エネルギー・

省資源対策推進会議省庁連絡会議

夏季の省エネルギー対策について

省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、「夏季の省エネルギー対策について」が決定された。経済産業省より資料が届いたので、以下、関係事項をピックアップし紹介する。

【産業界などに対する周知及び協力要請】

産業界など（関係団体、関係業界、地方公共団体及びNPOなど）に対し、事業者及び家庭などに省エネルギー・節電の呼び掛けを行うよう協力要請する。

1)工場・事業場関係

(1)工場・事業場における省エネ法に基づくエネルギー管理の実施

エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）に基づく適切なエネルギー管理を実施するほか、一層の省エネルギーを進めるため、以下に掲げることを実施する。

①事業者全体としての管理体制の整備、責任者の配置及び省エネ目標に関する取り組みなどの策定を通じ、省エネルギーを推進すること。

②省エネ法の判断基準に基づく設備の管理標準の策定・実施など、適切なエネルギー管理を実施すること。

(2)自主的な省エネルギーへの取り組みの推進

一般社団法人に本経済団体連合会の経団連低酸素社会実効計画の対象にあつては、その実現に向け、向上・事業場において技術的に最高水準の省エネルギー機器、設備の導入及び設備のきめ細かな運転の管理などにより、

KONICA MINOLTA Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。

自 採 証

デジタル印刷

環境対応のフラット
ケミカルレスCTPシステム

Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

Folbaid AQUA®

bizhub PRESS C7000

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上ビル5F TEL. 052-229-4624(代)

省エネルギーの取り組みを徹底して推進すること。同計画の対象外の者においても、自主的・計画的に省エネルギーへの取り組みを徹底して推進すること。

2) ビル・住宅関係について

(1) 住宅・ビルなどの省エネルギー対応

住宅、ビルなどの新築、増改築、改修などにあたっては、外壁、窓などを通しての熱の損出の防止を図るため、省エネ法に基づく住宅及び建築物の省エネルギー基準を踏まえ、断熱材の利用、設計・施行上の工夫による熱負荷の低減などの確な設計及び施行を行うこと。また、積極的なエコ住宅の新築や断熱改修などのエコリフォームに努めること。

(2) エネルギー消費効率の高い機器の選択・購入

家電機器、OA機器などのエネルギー消費機器の購入にあたっては、省エネルギー性能の高い機器の選択に努めること。

3) 運輸関係について

運輸分野における省エネ法に基づくエネルギー管理の実施/適切なエネルギー管理の実施、公共交通機関の利用促進/公共交通機関の利用、エネルギー消費効率のよい輸送機関の選択/環境性能に優れた自動車の導入、エコドライブの実践/エコドライブ10の実践、などをあげている。

4) その他

エネルギー管理システム「ISO50001」の導入検討、省エネルギーに資する事業活動の合理化及び従業員などの意識向上、地域における各機関の連携などをあげている。

※ ※ ※

また、経済産業省より「夏季の節電メニュー」と題した、夏季の節電への協力要請があり、①夏季の電力需要の特徴、②業種別節電メニューなどに関する資料が届いた。具体的内容は以下を参照。

<http://setsuden.go.jp>

<http://www.meti.go.jp/setsuden/index.html>

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
4月3日(水) ～ 9月27日(金)	事業名 印刷会社の社員研修会 ところ メディアージュ愛知 3階 会議室 ※開催職務又は教科の内容及び実施日程は組合ホームページでご確認ください。 http://www.ai-in-ko.or.jp ※1講座毎のお申し込みも受付けています。 ※新入社員向けの内容ですがどなた様でも受付させていただきます。
6月20日(木) 14:30～ 16:00	事業名 経営革新・営業部門のためのMUDセミナー ところ メディアージュ愛知 3階 会議室 参加費:無料 定員:40名 ※定員に達次第締切り
6月21日(金) 18:30～ 20:30	事業名 経営セミナー「戦略的CSRのご提案」 ところ メディアージュ愛知 3階 会議室 参加費:愛印工組会員3,000円 一般 4,000円 定員:36名
7月8日(月) 9:30～ 18:30	事業名 断裁機特別教育(学科) ところ 名古屋市中小企業振興会館(吹上) 第3会議室 参加費:調整中 定員:100名 ※近日中に、FAXでご案内致します。 ※実技については詳細調整中
7月12日(金) 13:00～ 17:00	事業名 Adobeテクニカルセミナー ところ ウィンクあいち 1201会議室 参加費:購入社(ライセンス購入数の人数まで無料、以上は5,000円) 未購入社5,000円 定員:90名
7月13日(土) 10:00～ 16:30	事業名 MUD教育検定(3級) ところ ウィンクあいち 1202会議室 参加費:組員13,500円、一般15,000円 学生5,000円 申込期日:6月28日(金)
9月27日(金) 18:15～ 20:30	事業名 ゼロから始める"見える化"セミナー ところ ウィンクあいち 1101会議室 ※詳細調整中
9月29日(日)	事業名 平成25年従業員・家族合同レクリエーション大会 ところ 馬籠宿ウォーキング・リンゴ狩り ※詳細調整中 ※会社・支部でのバス貸切は1台につき¥105,000

KOMORI
 Kando Beyond Expectations
H-UV Innovative Curing System
 ハイブリッドUVシステム
 瞬間乾燥とパウダーレスが短納期と高品質をもたらす
 革新的な乾燥システムが商業印刷を変えました。
 Made in Japan with state-of-the-art technologies
 株式会社 小森コーポレーション 名古屋支店 〒454-0807 名古屋市 中川区 愛知町 4-6 Tel:052-363-5011 www.komori.com

□日印産連

「9月印刷の月」PRポスターデザイン募集

一般社団法人日本印刷連合会（足立直樹会長）は、毎年9月を「印刷の月」と制定し、印刷産業の役割を広く社会にアピールするとともに、業界内の意識高揚を図っている。

印刷産業への認識・理解を深め、イメージ向上に繋がるもの、あるいは情報・文化・生活の担い手として印刷産業を的確に表現できるコンセプトのポスターデザインを募集している。

【公募概要】

▽応募対象者：（一般部門）日印産連会員団体・企業のクリエイターやデザイナーなど。（学生部門）グラフィックデザイン専門学校生・美術学校生など。

▽募集期間：平成25年6月28日(金)

▽ポスター規格・色数：規格はB2サイズタテ、使用色数は標準4色。採用された場合の用紙はコート紙（マットコート紙）を使用。

▽ポスター必須文字：タイトル「9月印刷の月」、「9月は印刷の月」などのバリエーションは可。キャッチコピー「Printomorrow～明日のいいこと、印刷から～」。行事案内「2013

年9月印刷の月」記念講演、記念式典、懇親会。その他①ポスターのコンセプトやコピーなどの掲載は自由、②デザイン入賞作品には追加文字の制作あり。

▽提出方法：インクジェットあるいはカラープリントなどデジタル対応ブルー（簡易色校正）1枚提出。郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・会社（学校名）・所属部署（学部）を明記し同封。

▽提出先：一般社団法人日本印刷産業連合会PRポスターデザイン募集係
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 TEL03(3553)6051

▽入賞者の発表：平成25年7月末日

▽応募費用：無料

▽最優秀賞：賞状・賞金20万円（1点）、優秀賞：一般部門賞状・賞金5万円（2点以内）、学生部門賞状・賞金3万円（同）、佳作：一般部門賞状・賞金2万円（同）、学生部門賞状・賞金1万円（同）。

▽日印産連ホームページ
www.jfpi.or.jp/

「グリーンプリンティング（GP）認定制度」が、この程、環境省「プレミアム基準策定ガイドライン」に取り上げられた。

プレミアム基準の設定方法として、①現行の判断の基準の強化、②新たな評価軸の追加、③事故適合宣言の強化又は第三者などによる認証・確認、④他の環境施策との連携による相乗効果を例示し、特に、③の第三者などによる認証ではエコマーク、森林認証制度、に並び、グリーンプリンティング認証制度が取り上げられている。

分野別プレミアム基準設定例では、役務の設定例として、選定する事業者の環境配慮への取り組みを評価することが大切であるとし、「印刷」の基準の設定にあたり考慮すべき事項として、「グリーンプリンティング認定制度の認定工場（事業所）」であること」と明記されている。

平成25年度以降の国、地方自治体、民間などの印刷物発注については、同基準設定例を参考にして行われることが予想されるとともに、将来のグリーン購入法への基準化が見込まれることから、ますますグリーンプリンティング（GP）認定工場の社会的役割の高まりが期待される。

事務局だより

□ピックアップ

□全印工連CSR認定

第2回募集開始

全日本印刷工業組合連合会は、5月1日から全印工連CSR認定「第2回ワンスター認定」の募集を開始した。応募締め切りは7月31日、認定登録は9月の予定。なお、4月末までに行われた第1回ワンスター認定の募集では、4月18日時点で39社の応募があり、現在審査が進められている。

□日印産連・グリーン基準

労働安全衛生と緊急時対応の項目追加、改定

日本印刷産業連合会は、4月25日に日印産連「印刷サービス」グリーン基準の改定を行い、「労働安全衛生への配慮」と「緊急時への対応」の基準化を図った。6ヶ月間の周知期間の後、10月25日から適用する。グリーン

プリンティング認定工場（GP認定工場）は、労働安全衛生と緊急対応の面でも広くアピールできるようになる。（具体的内容については、次号で詳報）

□環境省「プレミアム基準策定ガイドライン」で、GP認定工場への発注を例示

日印産連が展開している印刷産業界の環境に配慮した印刷総合認定制度

■平成25年度の通常総代会も無事済ませることができました。木野瀬丸も2期目を迎え、さらに魅力ある組合を目指し航海をしています。また、メディアージュ愛知も情報発信基地としての役割をますます強めています。今年度の行事も目白押しですので、是非、ご参加をお待ちしております。

あいの印刷

No.499

平成25年6月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp